

第2会場【課題発表】

11月1日(金)

10:30~12:00

1. 高齢者医療と医療経営の課題と展望

司会：小山 秀夫 (国立保健医療科学院経営科学部)

池田 俊也(慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室)

A-1-01 わが国の民間病院における設備資金調達

松原 由美(明治生命フィナンシアランス研究所)

A-1-02 民間中小病院(療養型病床群)の経営戦略

遠藤 正樹(医療法人社団康明会)

A-1-03 病院経営におけるMSWの貢献—民間病院3事例の比較検討—

十亀 亜也香(岡山大学大学院 医歯学総合研究科)

A-1-04 英国における保健・医療・福祉の複合施設形成に関する研究

Healthy Living Centreの意義と成立過程

中山 茂樹(千葉大学工学部デザイン工学科)

A-1-05 介護保険施設における「グループ経営」状況並びに経営意識に関する研究

小山 秀夫(国立保健医療科学院)

13:30~15:30

2. 科学的病院経営手法の開発

司会：橋本 廸生 (横浜市立大学医学部附属病院)

白髪 昌世(広島国際大学医療福祉学部医療経営学科)

A-2-01 医療・福祉経営におけるバランスト・スコアカード導入の試み

鎌田 剛(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科・博士前期課程)

A-2-02 院内外来患者動態解析システムの構築

島井 健一郎(大阪大学医学部保健学科)

A-2-03 放射線部門の原価管理システム

飛田 明(金沢医科大学病院 中央放射線部)

A-2-04 簡便な看護原価算定のための指標の検討—注射・処置点数と看護時間の関連について—

飯島 佐知子(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室)

A-2-05 病院における医療事故防止のためのシステム設計と検証

～医療事故防止のための信頼性解析～

田中 雅樹(元 東北大学医学部附属病院 緩和医療部(緩和ケアセンター))

A-2-06 看護業務に関連する事故の要因分析と分析モデルの開発

福留 はるみ(聖母女子短期大学)

A-2-07 医療現場におけるヒューマンエラーに対する認識の実態

伊藤 謙治(東京工業大学)

15:30~17:15

2. 科学的病院経営手法の開発

司会：福田 敬 (東京大学大学院薬学系研究科医薬経済学)

川淵 孝一(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

A-2-08 人工骨頭置換術における費用対効果とクリニカルインディケーターによる

科学的経営としての質管理

新田 章子(東京医科歯科大学大学院)

A-2-09 一大学病院の平均在院日数の推移に関する研究

—3大成人病といわゆる難病を含む疾患群について—

楊 学坤(順天堂大学医学部病院管理学研究室)

A-2-10 下部消化管悪性新生物の開腹手術における症例集積の効果

城川 美佳(東邦大学医学部公衆衛生学教室)

A-2-11 急性心筋梗塞の外科的処置における症例集積の効果

難波江 功二(東邦大学医学部公衆衛生学教室)

A-2-12 Narrative Based Medicineの応用

斉藤 陽子(日本医科大学医療管理学教室)

A-2-13 一般急性期病棟への「看護必要度」導入に関する研究—第2報—

筒井 孝子(国立保健医療科学院)

第2会場【課題発表】

11月2日(土)

10:00~12:00

3. 看護の質と業務改善

司会：江川 万千代

(福岡県看護協会)

伊藤 直子(西南女学院大学保健福祉学部看護学科)

A-3-01 CS(患者様満足)研究会と業務改善

入舟 紀子(国立別府病院)

A-3-02 褥瘡予防のための評価表「飯塚スケール」を作成して

花岡 夏子(飯塚病院看護部)

A-3-03 訪問看護の質を高めるチームアプローチ

荒巻 初子 (福岡県看護協会訪問看護ステーション「くるめ」)

A-3-04 訪問看護サービスの相対的価値付けに関する研究～実際の訪問看護サービスを対象に～

緒方 泰子(日本学術振興会特別研究員)

A-3-05 施設サービスにおける看護職と介護職の業務分担に関する研究

～一特別養護老人ホームの介護業務分類と業務分析～

酒井 見名子(大阪府立羽曳野病院)

A-3-06 看護の質に関する実証分析

伊藤 尚子(東北大学大学院経済学研究科 福祉経済設計講座)

14:40~16:10

3. 看護の質と業務改善

司会：佐々木 順子(島根医科大学医学部看護学科)

井部 俊子

(聖路加国際病院)

A-3-07 職務意識調査結果から見た看護管理の方向性

尾内 俊雄(淀川キリスト教病院)

A-3-08 OJTを中心としたキャリア開発と指導マニュアルの開発(3)

<第5報>看護管理者の管理スタイルの自己診断と他者診断の検証

粕谷 久美子(昭和大学横浜市北部病院)

A-3-09 OJTを中心としたキャリア開発と指導マニュアルの開発(3)

<第6報>看護管理者の職場状況に対する管理スタイルの診断

成田 育子(大和市立病院)

A-3-10 セーフティマネジメント～フィードバックの受けとめ方から安全教育を考える～

森田 なつ子(高知県立中央病院)

A-3-11 看護職が考えるナースステーションの物品配置とその傾向

三村 裕子(大阪府立看護大学大学院)

第3会場【課題発表】

11月2日(土)

14:40~15:30 4.医療情報システムはどうすれば役に立つのか

司会：八幡 勝也（(財)ヒューマンメディア創造センター）

A-4-01 スウェーデンの医療情報システム

山本 美江子（産業医科大学医学部公衆衛生学教室）

A-4-02 脳卒中急性期患者データベースの統計解析に関する研究

－中高レベル血栓溶解療法の評価－

汐月 博之（東海大学医学部医用工学情報系）

A-4-03 医療材料バーコード個装表示とデータベース登録の問題点の解明

酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学）

15:30~16:40 4.医療情報システムはどうすれば役に立つのか

司会：岡田 美保子（川崎医療福祉大学医療情報学科）

北添 康弘（高知医科大学医学部附属医学情報センター）

A-4-04 TAIver.2:ICF(国際障害分類)とイラストベースのアセスメント手法の結合

高橋 泰（国際医療福祉大学医療経営管理学科）

A-4-05 セカンド・オピニオンに対する医師と患者の意識に関する検討

久保 喜子（日本大学医学部社会医学講座医療管理学部門）

A-4-06 医療情報提供についての医療サービス消費側と病院の認識の違い

真野 俊樹（名古屋大学医学部医療情報部）

A-4-07 患者の人権とセキュリティに配慮した病院情報システム運用規定

石川 澄（広島大学医学部附属病院）